

ものづくり連携支援事業 プロジェクトPRレポート

管理機関名：株式会社オリオン工具製作所

プロジェクト名

コンソーシアムにおける航空機部品の一貫生産体制の構築

事業の背景（地域・産業の特性、市場が抱える課題・ニーズ等）

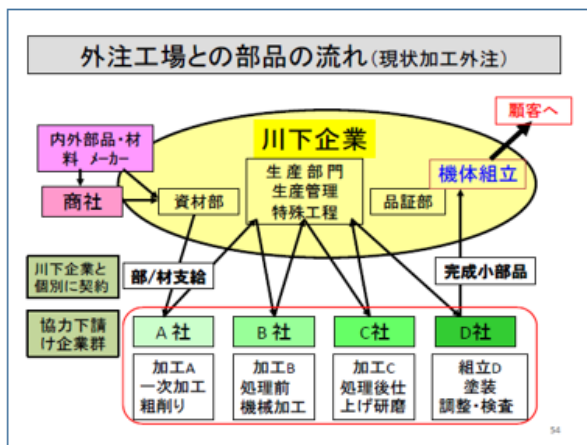
航空機産業は燃料高騰に伴い、燃費の改良された機材が必要とされている。また、今後の航空機利用が東南アジアを中心に世界で今後20年間で約1.9倍に成長されると試算されている。更には、格安航空券による市場拡大も広がってきており、コスト競争も激しくなっている。これらの要因により、航空機産業はかつてない競争の時代に突入したと言える。これらの課題に対応していく為には、従来型ののぎり発注形態から一貫発注、一貫品質保証体制へと転換を図り、生産性の高いものづくりが求められる。特に日本に於いては、あらゆるものづくりの海外流出が止まらない中で、参入障壁の高い、高度な品質マネジメントシステムが求められる航空機産業は日本人に最も適した産業と考えられる。課題としては、日本では経験が少なく、また中小企業参入にはかなり高いハードルが立ちはだかっていることであるが、裏を返せば大きなチャンスでもある、ということである。

事業の狙い（製品／市場・用途、提供する価値、新規性・優位性等）

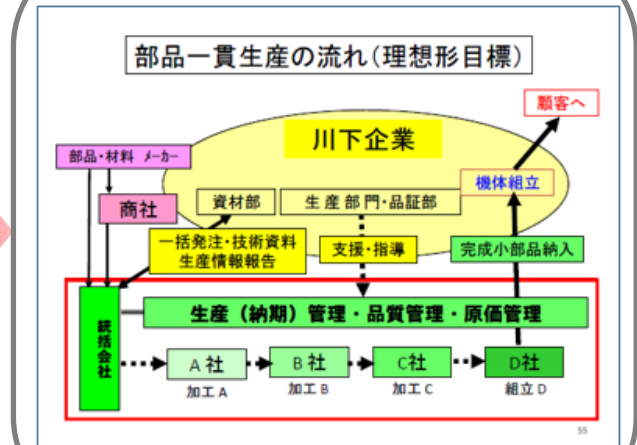
背景で述べた様に、航空機メーカーからの要求を受け止める各重工メーカー（Tier1と呼ばれる）は、あらゆる部分に発生する管理コストを削減し、生産性を高める為に比較的コストの安い中小企業を育成し、多品種少量生産のものづくりコスト競争力を高め、世界での航空機産業に対するシェアアップを図るチャンスと考えられる。これまでの日本のものづくりは世界でも高い評価を得ている事から、最も安全性が求められる航空機部品には最も適している産業の一つではないか、と考える。ちなみに、現在の航空機産業に於ける日本のシェアは海外調達も含め1.6%程度と言われているので、シェアアップを図る環境は十分であると考えられるのではないかと。

連携・グループ化の目的・期待効果

From（技術、製品、仕組み、販路等）



To（技術、製品、仕組み、販路等）

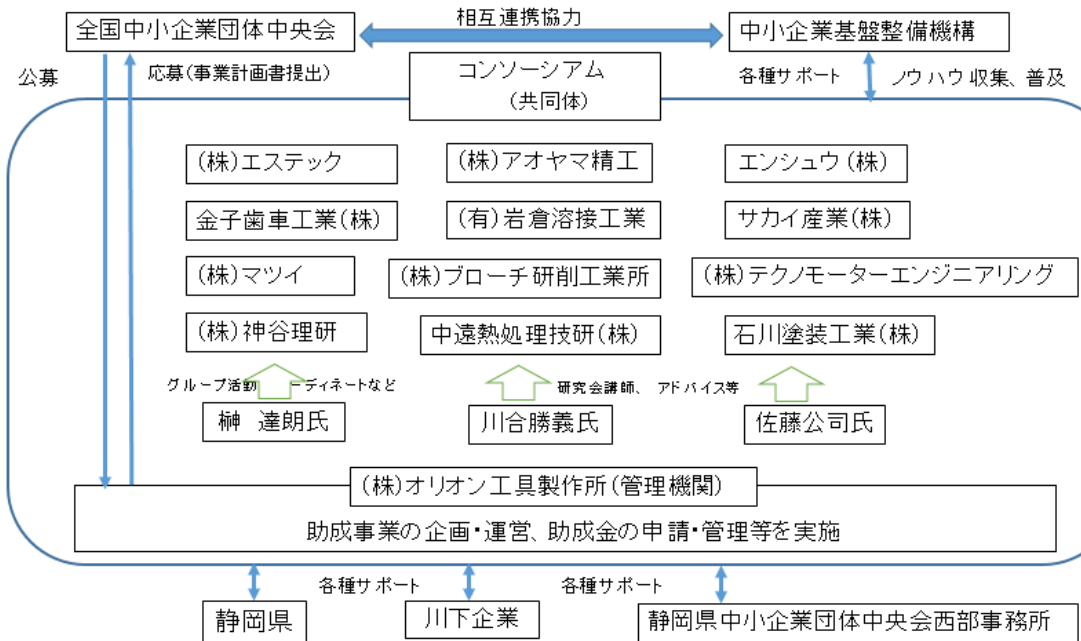


この事業実現のためのキーファクター

一貫生産・共同受注実現の為には、全員の強い意志と全体を考える「For the team」の考えを前向きなベクトルで揃えられる事と、ハードルの高い非破壊検査装置や工程認証及び作業者の認定まで必要とされるNadcapの資格取得が必要とされる事から、川下企業の支援が重要な鍵ではないかと思われる。また、中小企業には、受注の確定ができない時点からの大きな設備投資の負担への耐力が求められる。

コンソーシアム又はグループの構成

本事業の全体像とコンソーシアムの構成図



コンソーシアムの決意表明

一括発注を受けられる一貫生産受注体制の確立を達成し、日本の航空機産業発展に貢献し、企業、地域の活性化を図る